府立成人病センター跡地等における大学の

立地に関するアンケート調査結果

（平成２７年４月）

大阪府　住宅まちづくり部

都市空間創造室

**調査目的**

・府立成人病センター跡地等への大学立地の可能性について、広く意見を収集する

・本地区への大学立地に際して必要な条件を調査する

**調査期間・手法**

・調査期間：平成２７年２月２日（月）～２０日（金）

・平成２７年１月３０日（金）各大学の総務担当者宛に発送

【送付物：アンケート依頼文及び「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針（概要版）」】

【回答方法：大阪府インターネット申込みシステム（ネットでポン）を利用

**調査対象・回答数**

大学３０９校

・大阪府下の全国公立大学３校　・近畿圏内の全私立大学１１７校

・近畿圏外の全国の学生数２千人以上の私立大学１８９校

回答：６２／３０９校（回答率２０％）

・大学所在地別回答率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所 在 地 | 回 答 数／送 付 数 | 回 答 率 |
| **全 国** | **６２／３０９** | **２０％** |
| 大阪府 | １７／５０ | ３４％ |
| 近畿１府４県※ | １４／７０ | ２０％ |
| 近畿圏以外 | ３１／１８９ | １８％ |

　※近畿圏内で大阪府以外の府県

**大学回答結果概要**

（１）府立成人病センター跡地等への大学等の設置適正について

⇒「都心部である」「駅に近い」「複数の鉄道路線がある」という立地特性を評価し、大学の立地に適当であるとの回答が多かった。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 選択肢 | 回答数（校） | 所在地別・回答数 |
| 大阪府 | 近畿１府４県 | 近畿圏以外 |
| １）都心部であることから大学の立地に適当 | ３０ | １０ | ４ | １６ |
| ２）駅に近いことから大学の立地に適当 | ４６ | １４ | ６ | ２６ |
| ３）複数の鉄道路線があることから大学の立地に適当 | ３１ | ８ | ４ | １９ |
| ４）幹線道路に面していることから大学の立地に適当 | ９ | ２ | ０ | ７ |
| ５）面積について大学の立地は可能 | １６ | ８ | ３ | ５ |
| ６）大学の立地は難しい | ２ | ０ | １ | １ |
| ７）その他 | ６ | １ | １ | ４ |

\*回答大学数６２校（複数回答可）

（２）キャンパスの移転等の検討状況　・　府立成人病センター跡地等への移転可能性

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| キャンパス移転の検討状況 | 大学回答数（校） |  | 移転の可能性 | 大学回答数（校） |
| 検討したことがある | １２ |  | 可能性はある | １ |
| 検討中 | ６ |  | 条件次第で可能性がある | ２ |
| 今後検討予定 | ４ |  | 可能性はない | １４ |
| 検討したことがない | ３５ |  | その他、わからない | ５ |
| その他、わからない | ５ |  |

　\*回答大学数６２校　　　　　　　　　　　　　　　　　　　\*回答大学数２１校 \*検討している形態（回答大学数３校）：キャンパスの一部移転（２校）、新学部設置（１校）

（３）府立成人病センター跡地等に大学が立地するための必要な条件整備

⇒　土地処分方法の工夫を希望する大学が多かった。（回答６２校中４４校）

|  |  |
| --- | --- |
| 必要な条件 | 大学回答数（校） |
| 土地処分方法の工夫 | ４４ |
| 貸付による土地処分 | １３ |
| 規制緩和 | ７ |
| 行政の支援 | ２６ |
| その他 | ７ |

\*回答大学数６２校（複数回答可）

（４）具体的に必要な規制緩和、行政支援

⇒　土地取得に関する規制緩和を求める意見が多かった。（貸付、無償貸与など）　　　（回答７校中４校）また、財政支援を要望する大学が多数あった。その他、周辺環境整備、周辺住民の理解促進、事業連携に対する行政の支援を期待する回答があった。

＜主な意見＞

・設置基準、売却時特約、用途地域、建蔽率、容積率の緩和

・随意契約による土地の売却、貸付による土地利用、土地の一定期間無償貸与

・大学教育機関ビルの新築、賃料の優遇

・補助金等の財政支援（移転、土地購入、校舎建設費用など）

・周辺環境整備、警察協力の要請

・跡地利用に対する住民理解促進、調整（地域と一体性のあるまちづくり、制度づくり）

・事業連携、共同研究、人材育成の官学連携（地域の自治体などと大学の連携仲介）